

神になった人麻呂

鎌倉・室町時代の和歌秘伝



明石ゆかりの万葉歌人として知られる柿本人麻呂ですが、後世、彼が「神」に変貌してゆくなかで大きな役割をになったのは、『古今和歌集』をめぐる伝授や秘伝の数々でした。鎌倉・室町時代の人々が夢想した人麻呂像を、みなさんといっしょに読みといてゆきたいと思えます。

2017年

11/29 (水) 18:00 ~ 19:00 (17:30 open)

話題提供

中村 健史 神戸学院大学人文学部准教授

場所

大塩邸 (地域研究センター明石ハウス)

明石市大蔵八幡町 5 - 23

予約不要・参加費無料

神戸学院大学地域研究センター

☎ 651-2180

神戸市西区伊川谷町有瀬 518

☎ 078-974-4232 (火・水・金)

E-mail: frb@human.kobegakuin.ac.jp

■バス：JR明石駅より神姫バス「黒橋」下車、徒歩9分

■電車：山陽電車「大蔵谷駅」下車、徒歩5分

JR「明石駅」下車、徒歩15分

(南口より国道2号線を東へ)

■車：国道2号線の黒橋東交差点を南に曲がり、80メートル

ほど進んだ右側にコインパーキングがあります

(有料：1時間 100円)

